



日本共産党区議会議員

こんにちは
伊藤和彦です

自宅 足立区花畑6-20-1 電話3859-6952
足立区役所 電話3880-5111(内線4650~4654)
日本共産党区議団 直通3880-5770
<http://www5.family.ne.jp/~k-itou/index.html>

仰天! 介護保険料 一気に 5640円?

基準
月額



来年4月からの足立区の保険料 暫定額 足立区が提示

現在は4380円

1.3倍1260円

もの値上げ

9月12日、足立区の地域保健推進協議会専門部会が開かれ、来年4月から改定となる介護保険料について区は、現在基準月額4380円を5640円、1.3倍1260円値上げとなる「暫定算定額」を提示しました。



「あまりにも高額で言葉が出ない」「もう正直高齢者

は払うのはむり」「区民の立場から到底認めがたい」「衝撃的な数字」「高齢者の生活おびやかす」報告を受けた委員からは口々に驚きと反対の声が上がりました。私も大変驚き、今でも高くて払うのに苦労している区民のみなさんの顔が浮かびました。自民・公明・民主などの賛成で決めた仕組みが際限



決まったわけではありません。 これから区民が 意見を言う事が大事です



ない値上げ引き起こしている

これほどの値上げがなぜ提示されるのか?それはすでに13年前に自民、公明、民主などが賛成して決めた介護保険法で、国庫支出は半分に減らす」「高齢者が増えたり、介護施設やサービス総量や介護職員の給料が増えたら保険料に跳ね返る」という仕組みがつくられたからです。

若干のムタ遣いや見積りの甘さは正すとしても、大きくはこの「根本的欠陥」とも言うべき問題を明らかにし改善を迫るとともに、国庫負担の引き上げ、都や区の一財源の投入がなければ解決しません。

この制度を決めた党に所属する人たちからも思わず「高すぎる」との声が上がったいまこそ、共同して保険料の値上げストップ、安心して受けられる介護制度に変えていくうねりを起こしていこうではありませんか。

署名、公聴会、議会傍聴、審議会傍聴、シンポジウムなどが重要です。審議会・公聴会は今後の予定はまだ分かりませんが、分り次第お知らせいたします。

区民の会がシンポジウムを9月28日午後6時30分から開催しますので、ぜひ参加しましょう。
介護保険それって何? 「国の負担が半分になったってほんと?」

2000年から介護保険がスタートしましたがそれ以前は介護福祉に対する国の負担は50%でした。それ

ためこんだ
基金は一〇八〇億円を
超えました。

同12日には昨年度決算が発表されました。資料で結果は、決算剰余金(繰越財源)が約90億円あり、新たに40億円積み立てることになりました。その結果ためこんだ基金総額は一〇八〇億円を超えることになりました。区民のくらしを守る立場に立つことが求められています。

が25%に減らされました。「その25%も自治体には来ていないってほんと?」

国は20%だけ自治体に交付し、あとの5%は「調整交付金」にしてしまっており、足立区には3.67%しか来ていません。これによって約17億円財源不足となり、その分保険料が上昇するのです。

「保険会計の決算でお金が余ると区の一財源に入るってほんと?」

本当です。したがって、これまで区に一般財源に繰り戻されたお金は、原資は区民が納めた保険料であり、区民の保険料を軽減するために使つのは当然と考えます。

みなさんのご意見をお寄せください。(伊藤 和彦)



大島都議と区議団が交渉、副区長に対策を迫る

区と交渉

放射能除染で

9月14日、日本共産党区議団は大島よしえ都議と共に、区長に対して高濃度放射能汚染箇所の除染に関する交渉を行いました。

東京電力福島第一原発の事故によって大量かつ広範囲に放射能が放出され、国民の放射能への不安が広まっている中で、とりわけ放射能の影響の大きい子どもたちの健康を守る取り組みは日に日に広がりを見せています。

区の測定では、低濃度となった公園などでも、日本共産党が専門家の指導の下で独自に測定した結果、木製チップや草むら側溝・吹き溜まりなどは高い数値を示しています。申し入れでは、0.25マイクロシーベルト(毎時)を超え高い濃度を示した区内の22カ所について、各区議が写真で示して、区が責任をもって除染するよう求めました。

石川副区長が心対し、区としては独自に基準を決めながら測定と除染を行っているが、申し入れの件は検討し、後日回答すると述べました。当日は住民の方も参加しました。



シンポジウム 足立区の介護保険 事業計画を問う

9月28日(水)午後6:30

東京土建足立支部会館3階ホール

行政、地域包括、ヘルパーステーション、

研究者が登場

主催 介護保険をよくする区民の会

03-3857-2853深沢方

第11回区民アンケート トの集計結果をお知らせします。

アンケートは2251通(9月5日現在)が寄せられ表のような結果です。

| 区政で力を入れてもらいたい施策 | | |
|-----------------|----------|------|
| 第1位 | 防災、震災対策 | 903人 |
| 第2位 | 高齢者福祉 | 791人 |
| 第3位 | 医療 | 770人 |
| 第4位 | 防犯対策 | 554人 |
| 第5位 | 出産、子育て支援 | 509人 |
| 第6位 | 保育園、学童増設 | 508人 |
| 第7位 | 孤独死対策 | 480人 |
| 第8位 | 生活困難者対策 | 459人 |
| 第9位 | ゴミ、リサイクル | 414人 |
| 第10位 | 地球温暖化対策 | 393人 |
| 第11位 | 障害者福祉 | 390人 |
| 第12位 | 学校教育 | 368人 |
| 第13位 | 緑化対策 | 362人 |
| 第14位 | 公的住宅 | 313人 |
| 第15位 | バリアフリー対策 | 312人 |
| 第16位 | 虐待防止対策 | 268人 |
| 第17位 | 交通対策 | 256人 |
| 第18位 | 産業振興 | 178人 |
| 第19位 | 道路整備 | 177人 |
| 最下位 | 都市開発 | 111人 |

「身近な自治体から自然エネルギー化」 実際に可能なのですか?

自然(再生可能)エネルギーは、原発とは異なり、「地域の特性を生かした小規模分散型の供給が最も効果的」という特徴があります。まさに自治体から発信できる施策です。

低炭素社会(CO2削減)化をすすめることが、自然(再生可能)エネルギーへの転換・低エネルギー化をすすめることとなります。

先進国のドイツでは、小さな村単位で住民出資で風力や太陽光の共同発電所を設置し雇用も創出、売電収入で地域経済も活性化しています。空いた畑はエネルギー作物(麦・ひまわり・トウモロコシ・柳・菜種)を混在させて育てることで、良い土づくりと効率も上げ

大震災を経験して心配なことはいくつですか

| | | |
|------|--------------|-------|
| 第1位 | 放射能汚染全般 | 1597人 |
| 第2位 | 水や野菜など食べ物 | 1263人 |
| 第3位 | 家屋の倒壊 | 1105人 |
| 第4位 | 火災 | 937人 |
| 第5位 | 原発の存在 | 918人 |
| 第6位 | 家具の転倒 | 817人 |
| 第7位 | 避難場所 | 751人 |
| 第8位 | 帰宅困難 | 705人 |
| 第9位 | 液状化 | 612人 |
| 第10位 | 学校・幼稚園・保育園など | 518人 |
| 第11位 | 津波 | 324人 |

原発そのものについてはどのように考えますか

| | |
|--------------|-------|
| ア)現状維持で行くべきだ | 208人 |
| イ)減らしていくべきだ | 1490人 |
| ウ)増やすべきだ | 31人 |
| エ)わからない | 307人 |

国内でも国の環境モデル都市に指定され「明日の環境首都」に選ばれた飯田市では、中期目標50%削減、長期目標70%削減を明示し、住民との共同で太陽光・バイオマス・小水力などありとあらゆる自然エネルギーの活用にとりくみ始めています。太陽光や風力を活用した国内の「市民共同発電所」も200カ所を超え大きく広がっています。よっはやる気です。